

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

7年 5月 29日

富山市長

藤井 裕久 殿

提出者

住 所 魚津市六郎丸2935番地

氏 名 株式会社東城

代表取締役 吉田 信一郎

電話番号 0765-23-1110

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社東城
事業場の所在地	魚津市六郎丸2935番地
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	令和6年6月期元請完成工事高 1,889百万円
③ 従業員数	46名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物の処理を処理業者に委託することを基本とし、収集運搬から最終処分に至るまでマニフェストにより確認し、適正に管理する。 各工事現場（分別作業）→収集運搬（収集運搬委託業者または自社運搬） →中間（最終）処分場（処分委託業者）

（日本産業規格 A列4番）

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)

## (管理体制図)

統括責任者 社長室長 水口 富代明  
 廃棄物管理統括責任者 取締役総務部長 秋田 浩  
 ・廃棄物管理状況の把握と改善等の検討  
 ・委託契約の締結  
 ・監督官庁への各種報告  
 廃棄物処理統括責任者 常務取締役 内生蔵 幸夫  
 ・廃棄物管理票の交付・管理  
 ・処理業者・再生利用業者の調査・選定及び管理  
 ・社員に対する教育、各作業場に対する支援・指導

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 1,090 t				
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	がれき	その他混合廃棄物他
	排出量	57t	759t	138t	136t
(これまでに実施した取組)					
処理会社の処理内容を確認し、適正な委託契約の締結に努める。					
②計画	【目標】令和7年度 950t				
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	がれき	その他混合廃棄物他
	排出量	50t	750t	120t	30t
(今後実施する予定の取組)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事受注状況及び工事内容によって変動がある。令和6年度については国交省橋梁補修工事があり、大幅に産業廃棄物が多くなったもの。</li> <li>取り組みとして作業現場で資材をできる限り繰り返し利用している。</li> <li>施工段階において廃棄物の発生抑制を考慮した工法・資材等を採用する。</li> <li>以上により昨年より若干低めの計画とする。</li> </ul>					

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	作業現場での分別を推進し、廃棄物が混合しないように努める。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	作業現場での分別を推進し、廃棄物が混合しないように努める。	

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】		
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	がれき
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	がれき
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】		
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	がれき
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	がれき
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】		
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	がれき
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	がれき
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】 1,090t					
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	がれき	その他混合廃棄物他	
全処理委託量	57t	759t	138t	136t	
優良認定処理業者への処理委託量					
再生利用業者への処理委託量	57t	759t	138t	136t	
認定熱回収業者への処理委託量					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
(これまでに実施した取組)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどが公共工事（土木・建築）受注に伴う廃棄物で品目はがれき類（コンクリートがら、アスファルトがら）である。</li> <li>全て処分業者へ委託のもので主な委託先は、株エコモ、中川運輸（株）である。</li> <li>収集運搬・処理の許可証を確認し、契約後マニフェストによって管理している。</li> </ul>					

②計画	【目標】 950t				
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	がれき	その他混合廃棄物他
	全処理委託量	50t	750t	120t	30t
	優良認定処理業者への処理委託量				
	再生利用業者への処理委託量	50t	750t	120t	30t
	認定熱回収業者への処理委託量				
（今後実施する予定の取組）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどが公共工事受注に伴い排出する産業廃棄物で工事受注高、工事内容で委託量は大きく左右される。</li> <li>・当社の場合、今後も廃棄物処理業者に全て委託となるが、施工計画の策定にあたり、材料・工法を十分に検討し、さらに再生利用を図るため、各事業所において分別を推進し、廃棄物が混合しないように努める。</li> </ul>					
※事務処理欄					

## 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請  
完工工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ  
事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するま  
での一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中  
間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間  
処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量  
を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行  
令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収  
施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である  
処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者へ  
の焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のと  
おり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の  
種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入  
すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないとき  
は、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。